小学5年生　社会

金沢大学附属小学校 岡本 光司

第3回「そのニュース広めて大丈夫？ ～フェイクニュース～」授業プラン

1 単元名

5年社会科　情報化した社会と産業の発展「情報産業とわたしたちのくらし」

2 単元目標

情報産業と国民生活との関わりについて、関心を持ち、マスメディアを通した情報の有効な活用について主体的に考えることができる。(学びに向かう力、人間性等)	マスメディアの情報発信の特徴を知り、国民生活に与える影響について理解することができる。(知識及び技能)	マスメディアの情報発信について、受け手としてどのような選択や判断をしていけば良いのかを、多面的・多角的な視点を持って考えることができる。(思考力・判断力・表現力)

3 本単元で身に付けさせたいメディア・リテラシー

- 受け手として、どんな人が何のために表現をしているのかを意識して、一方的な解釈をしないように気をつけて読み解くことができる。(メディアの特性を理解する能力)
- メディアのあり方を提案する能力・・・コミュニティーにおける取り決めやルールを提案することができる。

※引用　ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシーの構成要素
中橋雄(2014)『メディア・リテラシー論ーソーシャルメディア時代のメディア教育ー』北樹出版

4 指導計画

【第1次】
「わたしたちをとりまく情報」を学習し、メディアの大別と単元の学習の見通しをもつ

【第2次】
「情報産業とわたしたちのくらし」

① テレビニュースについて、自分の体験から学習課題をつくる
～放送局の人は、どのようにしてわたしたちに情報を届けているのだろう～
② ニュース番組を作るための情報収集の方法や工夫について理解する
③ 集めた情報を番組にするための編集作業の工夫について理解する。
④ (本時)@media(アッ!とメディア) 第3回「そのニュース広めて大丈夫？フェイクニュース」を視聴し、情報を上手に活かすために、送り手の意図や受け手の態度について考え、より良いメディアとの付き合い方について考える

【第3次】
「ひろげる　新聞社の働き」で、これまでの学びをもとに、新聞の特徴について調べ、より良い向き合い方について提案する

本時案は次のページ

アッ！とメディア @media

NHK Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。

5 番組回を活用した本時の展開

(1)本時のねらい

情報による誤解や混乱が生じないようにするために、メディアの表現のあり方について考えることができる。(学びに向かう力・人間性等)

(2)本時の展開

学習活動	指導上の留意
1. 課題を捉える メディアからの情報を受け取るときに、わたしたちが気をつけなくてはいけないことは？ **2. 番組を試聴してわかったことを話し合い、整理する** ・フェイクニュースが混ざっている ・ディープフェイクは完全に見抜くことは難しい。僕も分からないと思う ・情報元を確かめたり、複数のメディアに乗っているか確かめることも大切。	・メディア(特にインターネット)の情報に誤情報が混ざっていることは、児童にとって当たり前の感覚である。児童の発言から、「情報には嘘が混ざっていることがある」という意識を持たせ、学習を導入する。 ・議論の時間を十分に確保するため、ＮＨＫ番組サイト内のチャプター写真を活用し、簡潔に内容を整理する。
情報にはウソが混じっていることがある。 ウソを信じたり広めてしまわないために、情報を疑ったり確かめることも必要	
3. フェイクニュースのあり方について議論する ○良いフェイクってあるの？ ・お客さんを楽しませるようなフェイクなら、いいんじゃないかな ・楽しくても嘘は嘘、騙されたと思うと嫌な気持ちになる。 ・自分は楽しいと思っても、同じ情報で嫌な気持ちになる人もいるんだな ・嘘を全て禁止してしまうと、面白くなくなっちゃう気もするよ。 ・悪意のあるフェイクニュースをなくすことはできないのかな	・議論の中で、同じフェイクニュースに対しても、人により様々な受け取り方があることに気づかせる。
4. メディアとの関わり方について、文章にまとめる 世の中の全ての情報が正しいかどうかはわからない。悪意のあるフェイクニュースもあれば、些細な嘘も混ざっている。全てをすぐに信じるのではなく、「本当にそうかな」と立ち止まって自分で考えたり調べたりすることが大切だ。	・受け手として、フェイクニュースが含まれているかもしれないという意識を持ちながら、メディアと関わるために必要な視点について考えさせる。
5. 本時を振り返り、次時への見通しをもつ	

アッ！とメディア @media
NHK Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。